

女性が輝く 京都企業

5 スズキ自販京都



京都女士部のミーティング風景

女性目線で業務を改革するプロジェクトチーム発足 感性とキャリアを活かせる働きがいのある職場に

軽自動車で国内屈指のシェアを誇るスズキ株式会社の直営販売会社として、京都府内に16ある拠点を統括。一般的にクルマといえば男性というイメージが強いが、「小さなクルマ」を主力としてきたスズキは、ユーザーの約6割が女性という現状がある。このため店頭で接客を担う女性営業社員も多く、カーディーラーのなかでは女性率が高いほうであった。しかし、これまでは「結婚退職」が一般的で、女性がキャリアを積むことなく退職することがほとんどだったという。

そういった慣習が見直されはじめたのは、「男女共同参画」「ワーク・ライフ・バランス」などのキーワードが社会的に重視されるようになった2008年頃から。「女性が長く働ける職場づくり」を目指し、女性の労働環境を整える制度の充実に努めてきた。「たとえ良いサポート制度があっても、形骸化しては意味がありません。実情に応じ、使いやすく整えるとともに、有効に利用して働き続ける女性社員がひとり、ふたりと

出てきたことで、後進の道標となってくれました」と、総務部勤務17年で現在係長を務める谷口奈生美さんが語る。

さらに女性活用の追い風となったのは、メーカー主導の戦略。2013年、スズキ本社は女性目線で業務改善を担うチーム活動を立ち上げた。その名も「女子改(じょしかい)」、「女子会」と「改革」をかけたネーミングである。これに対応して、京都では幅広い拠点、職種から7名を選抜したプロジェクト「京都女士部」を発足。すでに視察や会議を重ね、店舗やショールームのつくり、アメニティの設置、接客やイベントのあり方など、女性目線からさまざまな改革を実現している。「公認のチームゆえに声があげやすく、採用のスピードも早い。他の社員の刺激にもなり、新しい活気が生まれているのを実感します」と谷口さん。女性ならではのきめ細かな心配りとそれを豊かに育む土壌が、会社の「大きな未来」を力強く開いていく。



代表取締役の内田喜久雄さん(左)、係長の谷口奈生美さん



株式会社スズキ自販京都

代表者/内田 喜久雄
住 所/向日市寺戸町寺田 50-2
TEL / 075-924-6600
URL / <http://sj-kyoto.jp>
事業内容/軽四輪車・小型四輪車・電動福祉車両の
販売及び整備、部品等の販売

従業員/277名(うち女性50名)